

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（柏崎刈羽原子力発電所7号炉 設計及び工事の計画）【268】
2. 日時：令和2年7月20日 10時00分～15時30分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室
4. 出席者（※・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

植木主任安全審査官、津金主任安全審査官、宇田川安全審査官、  
服部安全審査専門職、堀野技術参与、山浦技術参与

事業者：

東京電力ホールディングス株式会社

原子力設備管理部 課長 他12名※

## 5. 要旨

(1) 東京電力ホールディングス株式会社から、柏崎刈羽原子力発電所7号機の工事計画認可申請書のうち、耐震性及び強度に関する説明書について、令和2年1月24日、3月6日、3月26日、6月26日、7月2日、7月9日、7月14日、7月15日、7月16日及び7月17日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【主蒸気逃がし安全弁排気管の耐震クラスについて】

- D/W（ドライウエル）内の主蒸気逃がし安全弁排気管について、Bクラス（S<sub>s</sub>機能維持）とする考え方を説明すること。また、当該箇所の破損時の影響について説明すること。
- S/C（サプレッションチェンバ）内の主蒸気逃がし安全弁排気管について、Sクラスとする考え方を説明すること。また、当該箇所の破損時の影響について説明すること。
- D/W内及びS/C内の主蒸気逃がし安全弁排気管について、重大事故等対処設備としてSAクラス2とする考え方を説明すること。

【主蒸気管の弾性設計用地震動S<sub>d</sub>での耐震評価について】

- 配管サポートの評価結果について整理して説明すること。

【中央制御室換気空調系ダンパ（U-41DAM602A, B）の弁ふたの厚さ評価について】

- 弁ふたの厚さ評価について、日本機械学会設計・建設規格に従った評価を行った上で、評価結果の妥当性を整理して説明すること。

【工事計画に係る説明資料（各クラス機器の強度に関する計算書）】

- 「2. 解析モデル」について、要素数及び節点数、解析コード、軸力の負荷方法等を整理して説明すること。また、機械工学便覧に示される評価方法の適用結果を整理して説明すること。

【工事計画認可で実施する比倍評価について】

- 「図3 今回工認における比倍評価フロー」について、分岐条件を整理して説明すること。

(3) 東京電力ホールディングス株式会社から、本日の説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他

なし